

「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー2005」の募集開始のご案内

優れたソフトウェア・プロダクト製品を表彰する
「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー2005」

独立行政法人 情報処理推進機構（略称：IPA、理事長：藤原 武平太）は、「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー」の本年度の募集を開始いたします。

「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー」は、ソフトウェア・プロダクトの開発意欲を高め、多くの良質なソフトウェア・プロダクト製品の供給を促進し、さらに、ソフトウェア・プロダクト市場の拡大及び充実を目指すものです。本賞は、平成元年に創設され今年で第 17 回目を迎えます。

今年度は、下記により、優れたソフトウェア・プロダクト製品の応募を広く募り、優れた製品を表彰いたします。

記

1. 対象製品

国内開発・海外開発を問わず、申請の時点で国内において広く利用、流通されているソフトウェア・プロダクトを対象とします。〔コンテンツ（例：映画、音楽）のみは、対象外。〕

2. 対象分野

産業 / 行政

〔産業向けソフトウェア・プロダクトと行政向けソフトウェア・プロダクト〕

家庭 / 個人

〔家庭生活や個人生活での利用に適したソフトウェア・プロダクト〕

安心 / 安全

〔コンピュータを安心して使えるようにするソフトウェア・プロダクトおよび安全・健康な生活に資するソフトウェア・プロダクト〕

システム・基盤

〔システムや通信制御ソフトウェアの開発～保守・運用のライフサイクルの中で使われているソフトウェア・プロダクト〕

3. 主催

独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)

4. 後援

経済産業省 (予定) 朝日新聞社、日刊工業新聞社

5. 協力 (予定含む)

社団法人 企業情報化協会
社団法人 情報サービス産業協会
財団法人 ソフトウェア情報センター
財団法人 データベース振興センター
社団法人 電子情報技術産業協会
社団法人 日本コンピュータシステム販売協会
社団法人 日本システムハウス協会
社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
社団法人 日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
社団法人 パーソナルコンピュータユーザ利用技術協会
特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会

6. 選定

申請のあったソフトウェア・プロダクトについて、申請書により書類審査を行い、書類審査で選定されたものについて、説明及びデモンストレーションをお願いし、この審査結果に基づき最終選定を行います。

選定は、学識経験者・有識者で構成されたソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー選定委員会(委員長:加藤 和彦 国立大学法人 筑波大学 大学院 システム情報工学研究科 教授)で行います。

7. 締め切り

平成17年7月29日(金)

8. 応募方法等

詳細は「応募要項」を参照のうえ、応募してください。

なお、「応募要項」は下記ホームページで公開しております。

URL <http://www.ipa.go.jp/software/oftheyear/2005/koubo.html>

9. 表彰式

平成17年10月24日(予定)

「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー2005」に関するお問い合わせ先
独立行政法人 情報処理推進機構
ソフトウェア開発支援部 企画グループ 森・高橋
TEL : 03-5978-7504 (直通) E-mail : 05softy@ipa.go.jp

報道関係者からのお問い合わせ先
独立行政法人 情報処理推進機構 戦略企画部広報グループ 高瀬・横山
TEL : 03-5978-7501 FAX : 03-5978-7510 E-mail : ipa-pr@ipa.go.jp